



天日塩らーめん べらしお福祉 住吉東店

もともと法人では清掃やパンの製造販売を通じた就労支援に取り組んでこられました。一般就労への難しさ、支援員にとって店舗運営や商品開発の負担が大きい、という課題がありました。

そこで企業のもつ技術やマニュアルを導入することで、より一般就労に近い訓練ができること、商品やサービスが一定の水準を保てること、マニュアル化された作業が利用者さんにとって取り組みやすい訓練になるのではと考えられました。施設長が以前からよく通っていた堺市にあるラーメンチェーンの会社にこの話を直接持ちかけたところ、趣旨に賛同いただき、技術提供とプロデュースを受けることが実現しました。調理場はチェーン店と同様の作りですが、定量が出る調味料入れを使ったり、言葉を置き換えるなどして、マニュアルはさらに解りやすく工夫を重ねていっしょにやります。利用者さんはマニュアル化された仕事を習得していくことで自身のステップアップを実感しやすく、達成感や目標を持ちながら仕事に取り組んでいるようだという事です。また「自分がお店で働いている」という喜びを感じていっしょの方も多いそうです。



2014.10.20(月)

経営セミナー報告 (喫茶・カフェ)



最近、新たにカフェをはじめられたり、これからはじめようかなと考えている事業所さんは増えているようですが、どうやってお店の魅力をアピールするのかなど頭を悩ませることはいっぱいあります。

今回はそういった問題意識に添えていけるような内容のセミナーとなりました。

今回、話題提供をお願いしたのは駒川中野駅前2006年からカフェを営まれている白市さん。ご自身のカフェをセミナー会場として使用させていただきましたが、とてもゆったりと落ち着いた雰囲気の良いお店でした。

大阪市住吉区、社会福祉法人ライフサポート協会が運営する住吉総合福祉センターの中に、就労継続支援 B 型事業所が運営するラーメン店『天日塩らーめん べらしお福祉 住吉東店』があります。

お客様は一日に30～40人程で多くは地域の方ですが、ラーメン好きの方がブログやグルメサイト等の口コミをみて遠方から訪れることも少なくないそうで、時には行列ができることもあるのだそうです。



また、販売車を使い近隣大学や各地イベントへ定期的に出店したり、SNS を使った小まめな情報発信を行うなど、より多くのお客様に来ていただくための取り組みも頑張っておられます。

事業所 連絡先

社会福祉法人ライフサポート協会
住吉総合福祉センター障がい通所事業部
大阪市住吉区塚山東 5-8-3
TEL: 06-6678-7572 FAX: 06-6678-7573

天日塩らーめん べらしお福祉 住吉東店

営業日時: 月～金 11:30～13:30 (祝日は不定休)
Twitter アカウント @berasio_hukusi

カフェ経営者に聞く

セミナーに参加された事業所さんからは、自分たちがふだん疑問に思っていることやこれからやろうとしていることへのイメージがクリアになったようで、「おもしろくて役にたった」という感想やまたやってほしいというご要望もたくさんいただきました。



競合店との差別化はなに?

お話の中で特に感じたことは、「30-40代の女性」「子育て世代」「健康志向」などお店のターゲットが明確で、そういったお客様を意識した商品やサービスがしっかりと考えられていることです。さらにメルマガやブログ、フェイスブックなども積極的に活用されたり、時には休日にワークショップやイベントも開催されたりしてお客様との交流を積極的に深めておられます。こうした取り組みがお店を支持くださるお客様の存在につながり、結果として競合店との差別化にもつながっているようでした。何よりカフェが好きで楽しいという思いが伝わる内容だったと思います。

事業所さんの声

ホワイトボードに納品までの工程を書き、製造班とラッピング班が協力し、がんばりました!



事業所 堺東部障害者作業所

全星薬品工業株式会社様からクッキーの大量受注をいただきました。

昨年度から全星薬品工業様の工場でパンとクッキーの販売をさせていただいたことがきっかけで、今回創立日の祝賀記念品としてクッキー 430個(1000円の箱)を注文していただきました。最初、なかにまに伝えた時は430個という数に驚く人もいれば、どれくらいの数なのか想像もできない人もいました。作業部屋のホワイトボードに、430個の注文がいつ納品なのかを書いた紙を貼り、いつまでに仕上げなければならないのかを考え、製造の班である「いちご班」とラッピングの班である「みるく班」と共に協力しながら、約2週間で430個の箱詰めを終えることができました。すべて仕上がった時は、大量の箱の数を見て「すごい、やった～」との声が上がっていました。車の関係上、納品に全員で行くことはできませんでしたが、本社と工場の2ヶ所に納品先があったので、それぞれ2、3名の利用者職員で行き、納品を終えた後は「がんばった」との言葉が出ており、達成感に満ち溢れていました。

まいど!!! 共同販売 shop です!

“ ぶらり嵐山 ”

場所: JR山陰線「嵯峨嵐山」駅 徒歩約10分
京福電鉄「嵐山」駅 徒歩約3分
阪急嵐山線「嵐山」駅 徒歩約10分
定休日: 火曜日
営業時間: 午前10時～午後5時
※定休日、営業時間は季節によって変動あり



京都のなかでも観光地として特に有名な嵐山にある「ぶらり嵐山」は、京都府の指定管理を受けて、特定非営利活動法人京都ほっとはあとセンターが管理・運営をされています。

建物1階は障がい者事業所で製造した商品の販売スペース、アート作品の個展などを開催できる小さな貸ギャラリーの他、建物奥の展示スペース、中央にくつろぎスペースを設置。販売スペースは、京都駅ビルにある同一法人運営の「ハートプラザ KYOTO」のアンテナショップとして、京都府下の会員168施設で製造、製作されている様々な商品を委託販売(手数料10%)しています。

観光都市らしく、店内には西陣織、ちりめんなどを使った京都らしいさまざまな商品が並んでいました。お客様の殆どは観光で来られた方ですが、特に、ここ2年ほどは海外のお客様が急増しているとのこと。

さぞ、京都らしい商品が並び、京都らしい商品が良く売れるのだろうと興味津々でしたが、年間通してよく売れるのが「ごきぶり残念」というユニークなネーミングの商品と聞いてビックリ!ハーブ系の天然素材で作られたこの商品、大きさ、価格(2個入り税込110円)、見た目(写真右上)、実用性のバランスが取れているとは思いますが、お土産にまとめ買いをされる方もいるとのこと二度ビックリです。

このショップでは、観光シーズンにあわせ、営業日、営業時間などを変えたり、季節ごとの商品の入替えをしています。さらに、売上向上の工夫として、海外からのお客様に対応する英・中・韓の三カ国語表示などを検討しています。お話を伺ったスタッフは、「日本の事業所で製造、製作している商品が海外の人にも広く知られることになれば嬉しい」とおっしゃっていました。

